

# 山梨県内における職場での熱中症による労働災害発生状況

## 1 令和6年の職場における熱中症による労働災害発生状況

山梨県内の令和6年の職場での熱中症による被災労働者は61人で、前年(令和5年)の66人より5人減少した。このうち休業4日以上(3人)は前年の7人より大幅に減少した。発生件数の内訳を業種別にみると、建設業が17人と最も多く、続いて警備業が10人、製造業が7人、商業が5人の順となっている。月別では、7月と8月が中心であるが、9月にも9件発生した。

## 2 過去10年間(平成27年以降)の熱中症による労働災害発生状況

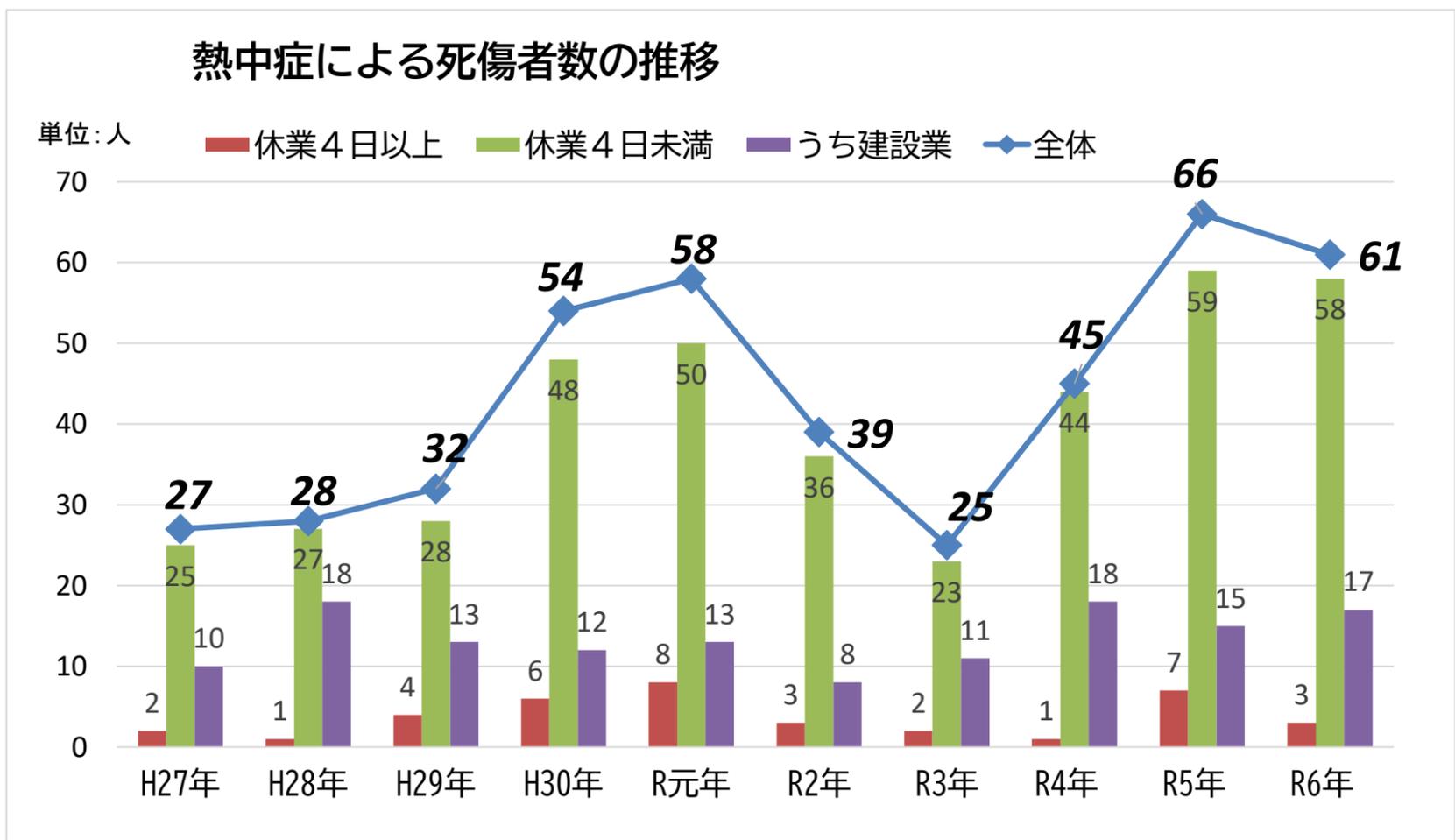
平成29年までは毎年30人前後で推移していたが、平成30年、令和元年には50人を超え、令和2年、令和3年は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う出勤抑制等の影響もあり一旦減少したが、令和4年は再び増加に転じた。令和5年はさらに増加し過去最多となった。これは、全国的に夏の平均気温が1898年の統計開始以降最高となる中、県内においても、甲府市で7月には38.7℃を記録し、9月には統計以来最も遅い猛暑日を記録したほか、夏(6~8月)の平均気温が河口湖で統計以来最高となるなど記録的な酷暑となったことが大きな要因と考えられる。令和6年も気温が高い傾向は変わらず、前年とほぼ同水準で高止まり傾向にある。

業種別では、令和5年には製造業の増加がみられたものの、令和6年では製造業における発生は減少に転じ、建設業がトップとなった。警備業は前年の5件から倍増し、警備業としては過去最多となった。

(単位：人)

年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	計 (年平均)
被災労働者数	27	28	32	54	58	39	25	45	66	61	435 (43.5)
休業4日以上	2	1	4	6	8	3	2	1	7	3	37 (3.7)
休業4日未満	25	27	28	48	50	36	23	44	59	58	398 (39.8)
うち建設業	10	18	13	12	13	8	11	18	15	17	135 (13.5)

※ [ ] 内は死亡者数で内数(過去10年間発生なし)



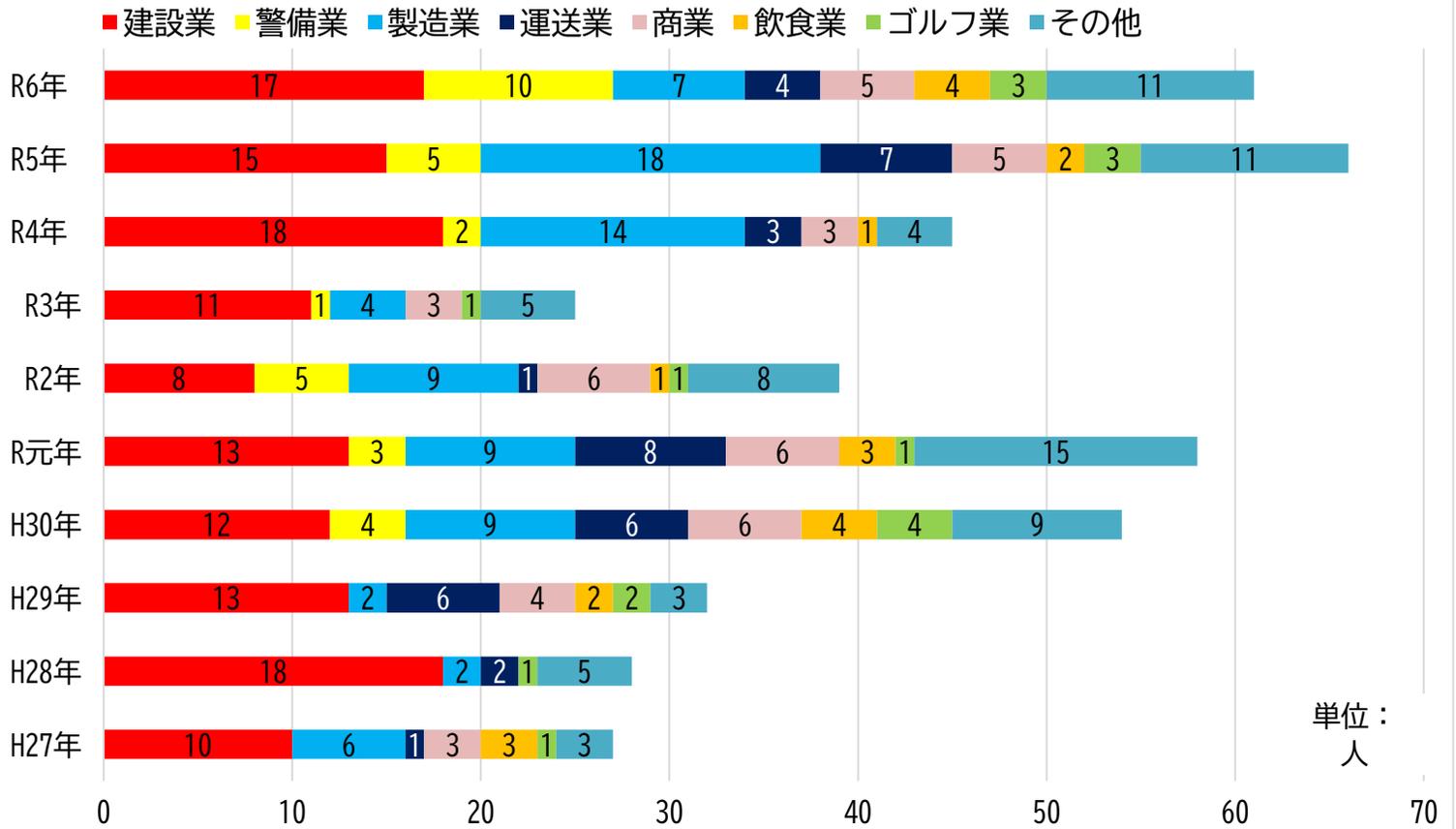
## 3 平成27年から令和6年における熱中症による労働災害発生状況グラフ(別図)

## 4 令和6年の熱中症による労働災害等一覧(別表)

# 平成27年～令和6年 熱中症による労働災害発生状況グラフ (山梨労働局管内)

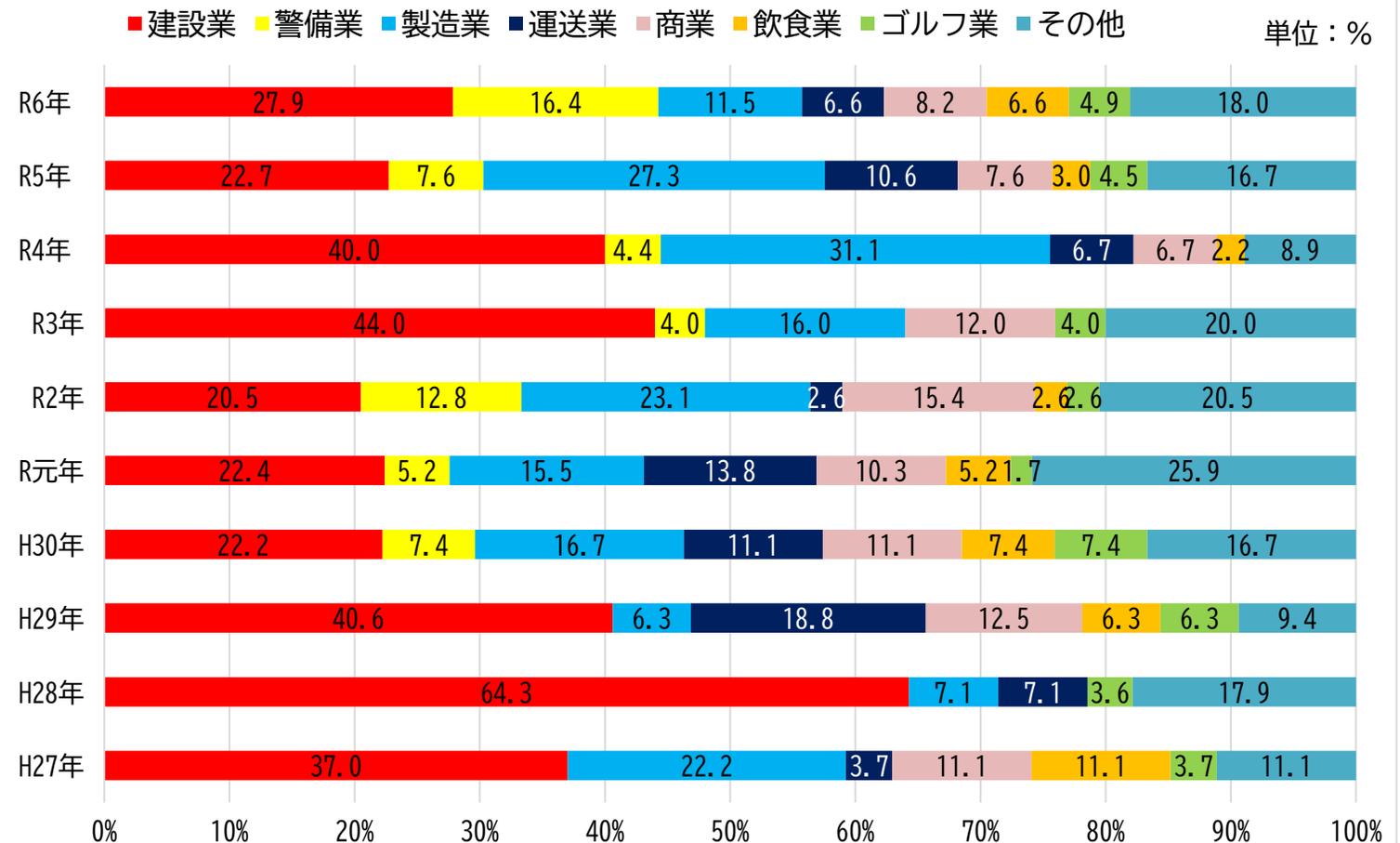
## 業種別発生件数の推移

令和6年は、前年と比較して警備業の発生件数が増加し、製造業及び運送業は減少した。

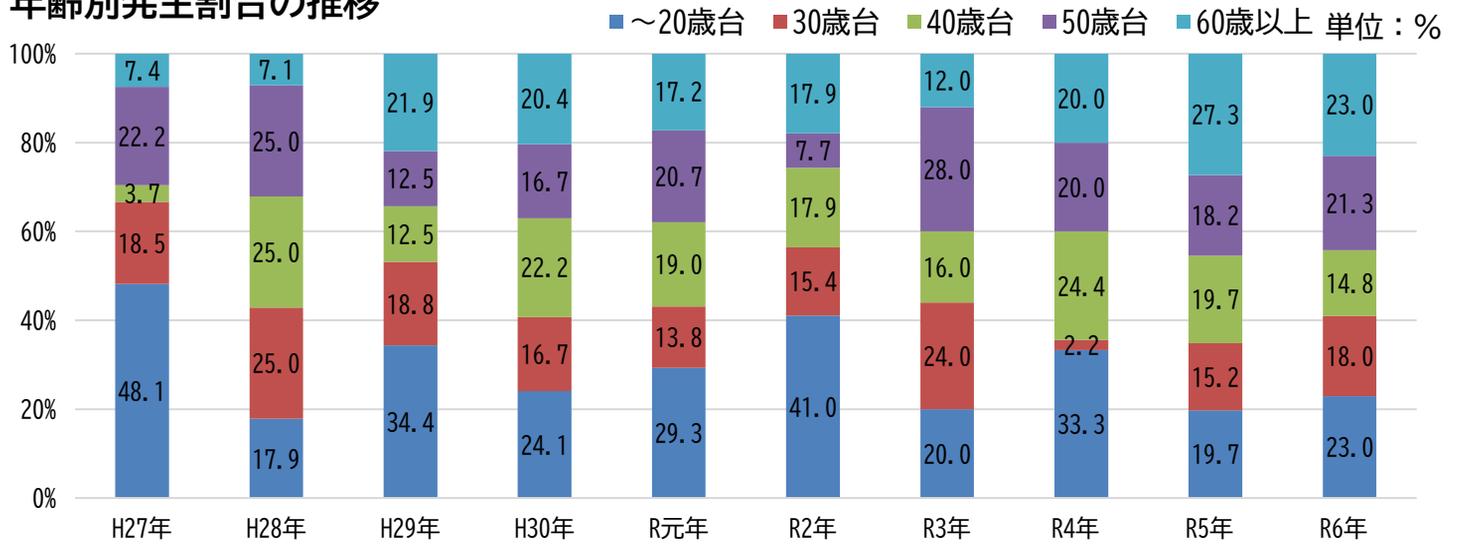


## 業種別発生割合の推移

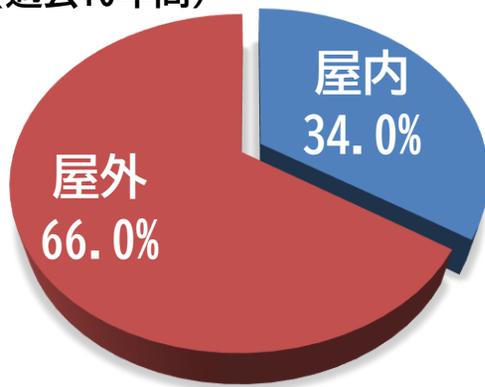
令和6年は、建設業と警備業で全体の約4割を占めている。



### 年齢別発生割合の推移

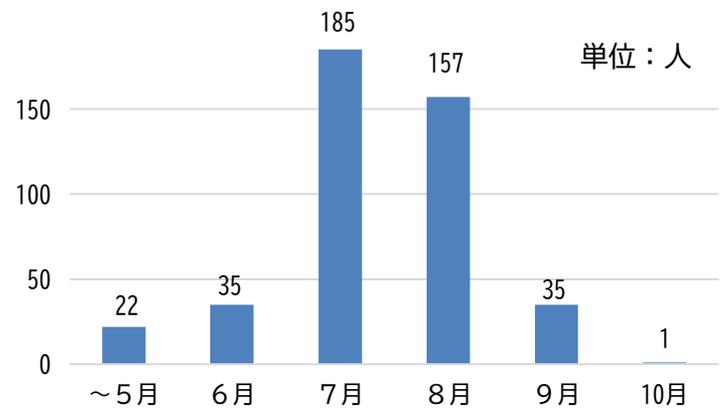


### 屋内・屋外別発生割合 (過去10年間)



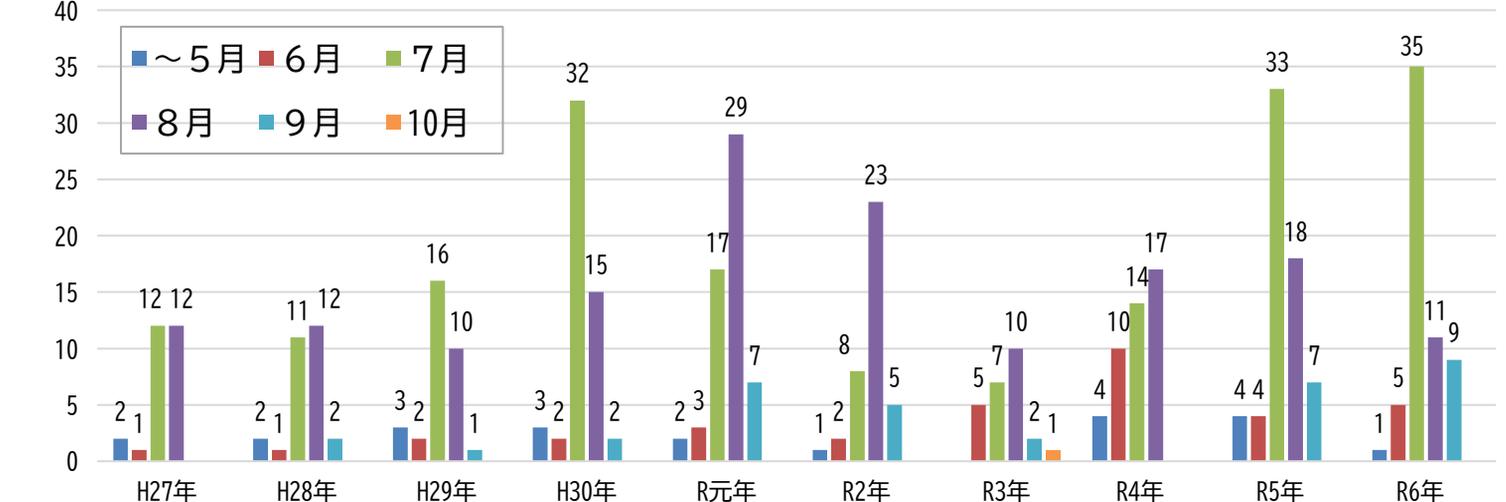
屋外作業での発生が多いものの、屋内でも一定数発生している。

### 月別発生件数(過去10年間)

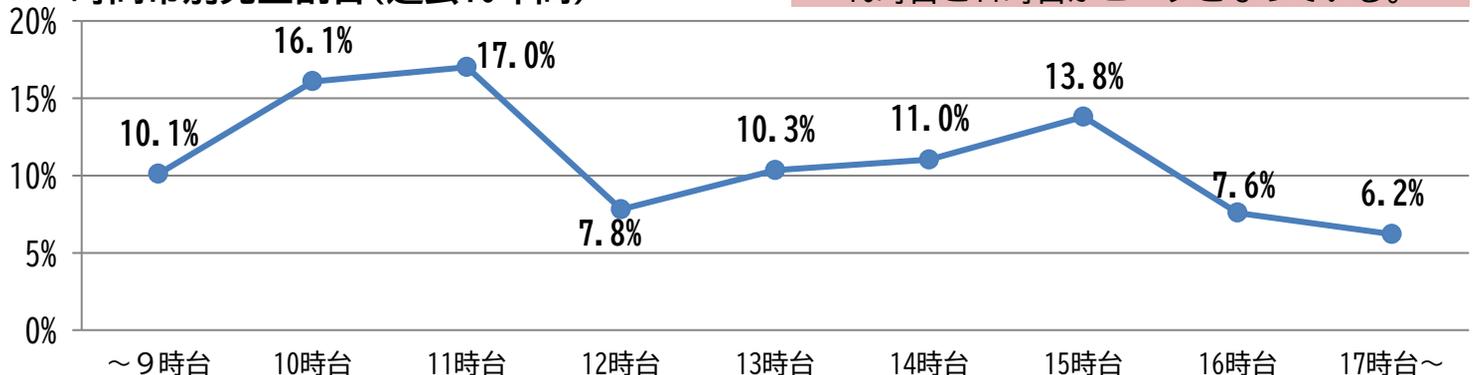


7月、8月を中心に発生しているが、9月以降も相当数発生している。

### 月別発生件数の推移



### 時間帯別発生割合(過去10年間)



10時台と11時台がピークとなっている。

## 令和6年 山梨県内における熱中症の発生一覧

No.	発生日	発生時間	気温 (暑さ指数)	業種	作業場所	年齢	性別	発生概要	署別
1	令和6年5月15日	15:00	25.3℃ (21-注意)	建設業	屋外	20歳台	男	橋梁工事現場において、屋外で型枠加工作業中に左右の足と左腕がつり、痛みが治まらなくなった。傷病名は脱水症。朝の時点で前日の飲酒過多で体調が悪いと言っていた。また、資材の運搬、加工の重労働を長袖の作業服を着用して行っていた。	甲府
2	令和6年6月11日	15:10	27.4℃ (22-注意)	警備業	屋外	60歳台	男	道路上で長袖のファン付き作業服を着て片側交互通行の車両誘導を行っていたが、動けなくなり、話す感じがおかしかったため救急搬送したものの。	甲府
3	令和6年6月24日	8:00	26.8℃ (26-警戒)	建設業	屋外	30歳台	男	法面整備工事の現場に行くため、住居から静岡県の現場まで自動車移動し、現場に到着したのち作業場所まで徒歩で移動中手のしびれ、吐き気を感じたため病院に搬送したものの。熱中症と併せ脱水症と診断された。	鯉沢
4	令和6年6月24日	15:00	31.4℃ (27-警戒)	その他の接客 娯楽業	屋外	20歳台	男	10時から屋外で接客(乗馬、コース案内、写真・動画撮影など)を行い、屋内での昼休憩の後、14:30頃から馬糞を散らす作業を馬を引きランニングのペースで走りながら行ったところ、全身のしびれを感じ、動けなくなったものの。	甲府
5	令和6年6月25日	13:00	30.6℃ (27-警戒)	商業	屋外	20歳台	女	商品倉庫の軒下、屋外で受入商品の開梱・検品作業を午前中に行った後、立ちくらみ、めまい、嘔吐があり、休憩の後、16時頃帰宅したが引き続きめまい、嘔吐があったため救急搬送されたものの。	甲府
6	令和6年6月25日	16:00	31.4℃ (27-警戒)	警備業	屋外	40歳台	男	発症前日と発症日に、本来業務ではない、事業場が借りて稲作をしている水田の草取り等の作業を行った後、葬儀業務に係る遺体の引き取りに向かう車内で顔面、両手、上半身のしびれと倦怠感が生じたため病院を受診したものの。	都留
7	令和6年7月1日	13:00	27.0℃ (27-警戒)	飲食業	屋内	20歳台	女	飲食店において、ホール兼厨房係として勤務していたところ、体のだるさ、頭痛、めまい、手のしびれを感じ病院を受診したものの。エアコン、扇風機は複数台稼働していたが、店舗内は40℃を超えていた。	甲府
8	令和6年7月4日	11:30	34.2℃ (29-嚴重警戒)	建設業	屋外	50歳台	男	ガソリンスタンド改修工事で、日影がない状態で作業していたところ、めまい、立ちくらみを生じ、救急搬送されたものの。	甲府
9	令和6年7月4日	11:50	35.1℃ (30-嚴重警戒)	建設業	屋外	40歳台	男	高速道路上でモルタル打設作業中、めまい、けいれんがあったもの。すぐにクーラーの効いた詰所で体を冷やしたこともあり、病院受診時には症状は改善していた。	甲府
10	令和6年7月5日	15:00	36.0℃ (30-嚴重警戒)	通信業	屋外	30歳台	男	午前11時頃から原付バイクで配達業務中、15:20頃頭痛を感じ15:40頃帰社、16時から17時まで休憩室で休憩後、屋内作業に復帰するも18時頃頭痛が憎悪、吐き気も生じ、症状が改善せず受診したものの。	甲府
11	令和6年7月5日	14:00	33.8℃ (28-嚴重警戒)	ゴルフ場	屋外	30歳台	男	ゴルフ場のコース管理業務を行っていたところ、だるさ、吐き気、めまいとひどい頭痛が生じたため、涼しい場所で休憩した後、その日は帰宅したが、翌日になっても頭痛が続いたため病院を受診したものの。	都留
12	令和6年7月5日	16:00	33.4℃ (30-嚴重警戒)	建設業	屋外	60歳台	男	道路工事現場の掘削残土盛土場において、土のうの積込に伴う玉掛け作業をしていたところ、足のけいれんとしびれを感じたため医療機関を受診したものの。	都留
13	令和6年7月7日	10:00	30.7℃ (27-警戒)	飲食業	屋外	50歳台	男	発症日以前9日連続勤務を行っており、午前4時に退勤し、午前5時ごろにパンを一つ食べ、軽く睡眠をとった。午前8時に起床し、コーヒーを1杯飲み、9時30分ごろ出勤。銀行への入金業務のため外出し、10時ごろ事業場に戻り、屋外で靴を履き替える際、突然めまいが生じ、意識を失ったため救急搬送されたものの。	甲府
14	令和6年7月16日	8:00	24.0℃ (26-警戒)	鉱業	屋外	80歳台	男	砂利作業に入るに当たり、雨が降っていたため雨合羽を着用し作業を行っていたところ、吐き気、けいれんといった症状が生じたもの。湿度が高い中雨合羽着用で体内に熱がこもったものと思われる。	鯉沢
15	令和6年7月17日	11:00	29.0℃ (26-警戒)	製造業 (食料品製造業)	屋内	30歳台	男	工場1階搬入口廊下でパレットに積んである原料を外袋から内袋に入れ替える作業中、気分が悪くなったため、水分補給の上、更衣室で休憩していたところ、手の震えが生じたもの。クリーンルーム用のつなぎ作業服、帽子、マスク着用で通気性は悪かった。	甲府
16	令和6年7月17日	12:00	29.3℃ (27-警戒)	通信業	屋外	20歳台	男	屋外で通信機器の故障修理作業中、めまい、倦怠感、嘔吐、歩行困難、会話困難を生じ、救急搬送されたものの。	甲府
17	令和6年7月18日	12:00	30.2℃ (28-嚴重警戒)	保健衛生業	屋外	30歳台	女	9:30頃から11:30頃までスーパー店頭の日陰で健康相談の従事したのち、職場へ戻る時に頭痛、吐き気を感じ病院を受診したものの。	甲府
18	令和6年7月19日	6:00	25.1℃ (26-警戒)	運輸交通業	屋内	30歳台	男	荷捌き場において、荷物の仕分け作業をしていたが、作業終了直後、急に全身に力が入らなくなり、手足のしびれ、けいれんを生じた。応急処置で体を冷やしたが軽快せず救急搬送したものの。作業場所はエアコンなく窓を開けていても夜でも暑熱な環境であり、また、繁忙期で作業量は多く、負荷は大きかった。	甲府
19	令和6年7月19日	15:00	33.6℃ (29-嚴重警戒)	警備業	屋外	60歳台	男	道路上で建設工事に伴う片側交互通行の車両誘導を行っていたところ、気を失い転倒したものの。倒れる前話す感じがおかしかった。「空調服」は着ておらず、長袖の作業服を着用していた。	甲府
20	令和6年7月21日	13:00	34.8℃ (29-嚴重警戒)	教育研究業	屋外	30歳台	女	全校生徒を引率して野球場において野球の応援をしていたところ、めまい、寒気、手足のしびれの症状が生じたもの。	都留
21	令和6年7月21日	13:30	35.1℃ (29-嚴重警戒)	その他の接客 娯楽業	屋外	30歳台	女	催物会場のテント下でテーブルの設営、片付けを含む接客作業を行っていたところ、体のだるさ、吐き気、めまい、しびれを感じ救急搬送されたものの。	甲府
22	令和6年7月21日	13:30	35.1℃ (29-嚴重警戒)	その他の接客 娯楽業	屋外	40歳台	男	催物会場において駐車場整理業務を行っていたところ、体のだるさ、頭痛、吐き気を感じたため、救急搬送されたものの。	甲府
23	令和6年7月22日	8:00	29.1℃ (29-嚴重警戒)	製造業 (機械器具製造業)	屋外	50歳台	男	敷地内花壇植え込みへの水やり中、頭痛、吐き気、めまいを感じ救急搬送されたもの。前日は除草作業(非常作業)を行っており、夏バテ気味であった。	甲府
24	令和6年7月22日	11:00	35.1℃ (29-嚴重警戒)	警備業	屋外	70歳台	男	工事現場において警備業務を行っていたところだるさ、吐き気を感じ病院を受診したものの。ファンが付いた「空調服」を着用していた。	甲府
25	令和6年7月22日	10:30	34.3℃ (30-嚴重警戒)	運輸交通業	屋外	50歳台	男	大型トラックの荷台に約5kgの段ボールケースを600枚手積みする作業を2時間弱行った後、座り込むように倒れたため、病院に搬送したものの。作業場所は倉庫脇の軒下で直射日光は当たらない場所であった。	甲府

26	令和6年7月23日	15:00	36.6℃ (31-嚴重警戒)	製造業 (食料品製造業)	屋内	50歳台	男	工場内室温40℃以上の作業場所で長時間作業を行っていたところ、白目をむいた後、突然後ろに倒れたもの。直後は会話ができていたが、しばらくすると会話ができなくなったため救急搬送した。空調設備が故障し、スポットクーラーのみ稼働していたため室温が高かった。	甲府
27	令和6年7月23日	13:00	37.1℃ (29-嚴重警戒)	商業	屋内	50歳台	男	事務員として倉庫事務所内においてPC入力作業を行っていて、11:00頃、体のだるさ、頭痛、めまい、吐き気を感じたが、そのまま業務を続けたところ、13:00過ぎに所用で歩いて数分の営業所に行った際にめまい、嘔吐の症状が出て動けなくなったため救急搬送したものの。	甲府
28	令和6年7月23日	16:00	35.4℃ (31-危険)	保健衛生業	屋外	20歳台	女	病院の広報活動として、大学において学生に院の紹介をしていた。11時から屋外のテント内で活動し、13時頃から体調の異変を感じていたが暑さのせいと思いそのまま作業を続け、16時の終了後に体調不良、吐き気を感じ病院を受診したものの。	甲府
29	令和6年7月23日	15:00	34.7℃ (29-嚴重警戒)	商業	屋内	50歳台	男	午後から出張先の屋内(エアコン稼働の事務室内)で通信機器関係のアンテナ及び配線交換作業を行っていたが、休憩の後、作業を再開したところ、意識を失い、倒れ、頭部を強打したため救急搬送したものの。エアコンの効いた室内であったが大量に発汗していた。	都留
30	令和6年7月25日	12:00	34.5℃ (29-嚴重警戒)	派遣業 (運輸交通業)	屋内	40歳台	男	午前8時から倉庫内(冷房なし)で作業をしていたが、忙しく水分補給できずにいたところ、手足のしびれを感じ、過呼吸、嘔吐があったため病院を受診したものの。	甲府
31	令和6年7月26日	10:30	32.1℃ (28-嚴重警戒)	警備業	屋外	60歳台	男	JR沿線の土留め擁壁裏に堆積した土のしゅんせつ作業に伴い、線路内において列車見張の業務を行っていたところ、顔色が悪いと現場職員が気付いたため体を冷やしたが、嘔吐があったため、救急搬送したものの。	甲府
32	令和6年7月27日	10:10	32.3℃ (29-嚴重警戒)	警備業	屋外	70歳台	男	直射日光の当たる屋外で2人勤務で1時間ごとに交代しながら警備業務中、急に目の前が真っ白になり倒れたもの。吐き気、立ちくらみの症状あり。作業場には涼む場所がなかった。	甲府
33	令和6年7月28日	20:00	31.3℃ (29-嚴重警戒)	飲食業	屋内	20歳台	女	店舗内において、食器の洗浄作業中、食器洗浄機の前で洗いあがりの食器を片付けていたが、食洗器からの熱気がこもる場所で作業を続けたため気分が悪くなり、嘔吐、めまいがあったため病院を受診したものの。	甲府
34	令和6年7月28日	12:00	34.5℃ (29-嚴重警戒)	商業	屋内	20歳台	男	自動車部品販売店の作業ピットでオイル交換作業をしていたところ、徐々に胸が苦しくなり、過呼吸の状態になったため、休憩室で休んだが、意識がもうろうとしてきたため救急搬送されたものの。	甲府
35	令和6年7月29日	13:30	37.3℃ (30-嚴重警戒)	建設業	屋外	20歳台	男	道路工事現場において、手掘りによる掘削作業を行っていたところ、体のだるさ、頭痛、めまい、立ちくらみを生じたもの。	甲府
36	令和6年7月29日	15:00	38.1℃ (31-危険)	建設業	屋内	30歳台	男	排水処理槽のピット内での防水工事を午前8時過ぎから開始、送風機を回し、空気を循環させながら作業をしていたが、午後3時頃の休憩時に現場内トイレで倒れ、嘔吐、頭痛、けいれん等の症状があったため救急搬送したものの。	甲府
37	令和6年7月29日	15:00	38.1℃ (31-危険)	建設業	屋外	50歳台	男	午前8時から工場新築工事現場において給排水管理設作業を行っていたが、午後2時30分頃休憩中に体調が悪くなり、足のしびれ等の症状があったため病院を受診したものの。	甲府
38	令和6年7月30日	11:00	35.7℃ (29-嚴重警戒)	製造業 (金属製品製造業)	屋外	20歳台	男	トラックで保管倉庫に保管する荷を運搬する作業中、トラックが荷崩れを起こしたため、修正作業を行っていたところ、頭痛、めまい、全身のしびれを感じたため、帰社後、病院へ電話相談の上、涼しい場所で休憩していたが、体が痛い、しびれが生じたため救急搬送したものの。	甲府
39	令和6年8月2日	15:00	36.9℃ (30-嚴重警戒)	警備業	屋外	80歳台	男	午前8時から交通誘導警備の業務を行っていたが、午後2時30分から30分休憩の後、作業を再開しようとしたところ、軽いめまいを感じたため、救急搬送されたものの。	甲府
40	令和6年8月5日	10:00	31.6℃ (29-嚴重警戒)	警備業	屋外	50歳台	男	工事現場において交通整理の業務に従事していたが、朝から気温が高く、作業場所は直射日光が射しており、水分補給はしていたものの、めまい、立ちくらみの症状が出たため、病院を受診したところ、脱水症と診断されたもの。	都留
41	令和6年8月9日	14:00	34.6℃ (30-嚴重警戒)	建設業	屋内 (午前中屋外)	70歳台	男	電気通信工事の作業員が、午前中屋外で、日向で長時間電話対応などの仕事をし、午後役場に公図取得に訪れ、1時間ほど経過したところで生あくび、冷や汗等の症状が出現したものの。庁舎内は経費節減のため冷房が効いておらず、窓からの日差しも強かった。	鯉沢
42	令和6年8月12日	13:00	31.9℃ (27-警戒)	運輸交通業	屋内	20歳台	男	電車の運転中、手のしびれを感じ、その後、呼吸困難となったもの。医療機関において、過換気症候群、脱水症と診断された。	都留
43	令和6年8月17日	10:30	33.6℃ (30-嚴重警戒)	ゴルフ場	屋外	50歳台	女	ゴルフ場にてキャディ業務を行っていた。空調服、ヘルメット着用にてこまめに水分を取っていたが、立ちくらみの症状が出たため、クラブハウスの涼しい場所で休憩したものの、手足がけいれんし始めたため救急搬送したものの。	都留
44	令和6年8月19日	10:00	31.3℃ (29-嚴重警戒)	建設業	屋外	20歳台	男	橋梁建設工事現場において、足場材の運搬を行っていたところ、頭痛、吐き気、めまいを感じたため病院を受診したものの。	甲府
45	令和6年8月19日	9:00	29.1℃ (29-嚴重警戒)	警備業	屋外	70歳台	男	工事現場において歩行者の誘導を行っていたが、めまいや動悸がしてきたため、救急搬送されたもの。作業場に日陰になる休憩場所はなかった。	都留
46	令和6年8月19日	13:00	33.5℃ (31-危険)	建設業	屋外	40歳台	男	トンネル工事現場において、送風機架台組立作業をしていたところ、立ちくらみを起こし、だるさ、手足のしびれを感じたため救急搬送されたもの。	都留
47	令和6年8月19日	10:30	31.9℃ (28-嚴重警戒)	製造業 (食料品製造業)	屋内	60歳台	女	清掃員が事業場内トイレの詰まり解消の作業をしていたが、中腰やししゃがんだ姿勢で30分ほど作業の後、立ち上がったところ、立ちくらみがして後ろに倒れそうになり、とっさに左手を床につき手首を負傷した。その後管理者への状況説明時に冷や汗をかき、動悸がして気分が悪くなったため病院を受診したものの。	甲府
48	令和6年8月21日	14:00	35.4℃ (29-嚴重警戒)	建設業	屋外	20歳台	男	工場新築工事現場において、午前中からクローラークレーンの組立作業を行っていたが、午後になり倦怠感と両手のしびれを感じ病院を受診したものの。	甲府
49	令和6年8月22日	13:00	32.5℃ (31-危険)	商業	屋内	30歳台	男	自動車整備工場で不動車を数人で工場内で移動させた後、しゃがんで輪止めを設置して立ち上がったところめまいがしてそのまま倒れたため救急搬送されたもの。	甲府
50	令和6年9月2日	17:00	29.0℃ (29-嚴重警戒)	建設業	屋外	40歳台	男	駐車場の舗装工事においてアスファルト打設作業中、足がつりその場に座り込んだ。日陰で水分を取り休憩したが、両手指先のしびれが生じたため病院を受診したものの。	甲府

51	令和6年9月5日	20:00	25.3℃ (26-警戒) ※坑内のため参考	建設業	屋外 (坑内)	60歳台	男	トンネル工事現場で掘削作業の立ち会い業務(17:30~翌3:30)をしていたところ、めまいと左下肢のしびれを感じたため、救急搬送したもの。坑内のため湿度は高かったと思われる。	躰沢
52	令和6年9月11日	14:30	33.8℃ (29-嚴重警戒)	建設業	屋外	40歳台	男	工場新築工事現場において、鉄筋組立作業を行っていたところ、太もも裏、左脇のけいれん、吐き気を感じたため病院を受診したもの。	甲府
53	令和6年9月15日	15:00	34.2℃ (29-嚴重警戒)	ゴルフ場	屋外	60歳台	女	ゴルフ場のキャディ業務において、客のボールを拭こうとしゃがんだところ、目が回り、気分が悪くなったが業務を続けた。業務終了後、休憩室で嘔吐したため医療機関を受診したもの。	都留
54	令和6年9月16日	14:00	26.5℃ (18-注意)	飲食業	屋内	40歳台	女	レストランで接客業務を行っていたところ、料理の受け渡し場(デシャップ)が厨房の火気もあり暑く、ホールとデシャップを行き来して汗をかき、のどが渇いたが昼食まで水分補給できず、昼食後、14:00頃にめまい、立ちくらみが生じ、その後、吐き気、手足のしびれ、過呼吸が発生したため救急搬送したもの。	都留
55	令和6年9月17日	9:00	27.5℃ (27-警戒)	建設業	屋外	60歳台	男	鉄塔建設工事において、残土搬出作業を行っていたところ、気分が悪くなり、だるさを感じたため病院を受診したもの。	躰沢
56	令和6年9月17日	11:00	29.8℃ (27-警戒)	清掃・と畜業	屋外	20歳台	男	顧客先の草刈り作業を行っていたところ、徐々に気分が悪くなり、吐き気を催したため、日陰で休憩していたが、症状が治まらなかったため救急搬送し、脱水症と診断されたもの。水分摂取ができていなかったと思われる。	甲府
57	令和6年9月18日	11:00	31.1℃ (29-嚴重警戒)	運輸交通業	屋外	50歳台	男	炎天下の中、客先で飲料物の入ったパレットを業務用ラップで巻く作業をしていたところ、動悸、頭痛、嘔吐、めまい、しびれ、冷や汗の症状が出たため、病院を受診したもの。業務が立て込んでいたため、水分補給ができていなかった。	甲府
58	令和6年9月20日	10:30	29.9℃ (27-警戒)	警備業	屋外	40歳台	男	直射日光の当たる場所で交通誘導を行っていたところ、気分が悪くなり、両手のしびれを感じたため、自分の車でエアコンをかけ休んでいたが、回復しなかったため病院を受診したもの。	甲府

(注) ※気温(参考)については、発生箇所地域(時間)における気象庁の統計情報による(室温を除く)。

※暑さ指数(WBGT値)は、日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」による指数で、警戒等の分類は日常生活上での基準であり、労働の場ではさらに大きくなると思われる

### 令和6年 山梨県内における熱中症の発生一覧(休業4日以上)

	発生日	発生時間	気温 (暑さ指数)	業種	作業場所	年齢	性別	発生概要	署別
1	令和6年7月22日	8:01	29.1℃ (29-危険)	製造業 (機械器具製造業)	屋外	50歳台	女	敷地内の花壇植え込みへの水やりを行っていたところ、頭痛、めまい、吐き気を生じ、救急搬送されたもの。睡眠不足、食欲不振等の体調不良であった。【休業見込7日】	甲府
2	令和6年7月23日	15:45	35.4℃ (32-嚴重警戒)	製造業 (食料品製造業)	屋内	50歳台	男	室温が40℃以上の工場内で長時間作業していたところ、熱中症と思われる症状により左後方に倒れ、側頭部を打撲した。直後は会話ができたがしばらくして会話ができなくなったため救急搬送したもの。【休業見込14日】	甲府
3	令和6年7月29日	15:10	38.8℃ (32-嚴重警戒)	建設業	屋内	30歳台	男	排水処理槽の防水工事をピット内で朝から行っていたが、午後3時過ぎに休憩のため休憩室に向かった後、トイレで倒れ、嘔吐、頭痛、筋肉がつる等の症状があり動けなかったため救急搬送したもの。【休業見込7日】	甲府

(注) ※気温(参考)については、発生箇所地域(時間)における気象庁の統計情報による。

※暑さ指数(WBGT値)は、日本生気象学会「日常における熱中症予防指針」による指数で、警戒等の分類は日常生活上での基準であり、労働の場ではさらに大きくなると思われる。